

KENWOOD

チューンアップサブウーファー

KSC-SW40

取扱説明書

株式会社 JVCケンウッド

© 2018 JVC KENWOOD Corporation

B5E-0221-00/00

はじめに

お買い上げいただきましてありがとうございます。
製品の取り付け、接続は専門技術と経験が必要です。取り付け、接続は安全のために、必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、安全上・使用上の注意を守り、製品を正しくお使いください。
お読みになった後も取扱説明書は大切に保管してください。車両の取扱説明書と一緒に保管されることをお勧めします。

この説明書の中で、**【△警告】****【△注意】**のマークが付いている箇所は特に大事なこと、最も重要なポイントです。この部分は特にしっかりと読みください。
製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」を取り付け、接続作業を始める前、および使用する前によくお読みください。
取り付け、接続のしかたの説明でおわかりになりにくいところがありましたら、当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。当社カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ先は、「保証とアフターサービス」の下に記載してありますのでご参照ください。

- 使用上のご注意
- エンジン

を止めた状態で使用しない。▶ バッテリーが上がりますのでご注意ください。
- オーディオコンポーネントのトーンコントロール、ラウドネスコントロールなどで低音域を上げ過ぎて使用しない。また、グラフィックイコライザーで低音域を上げ過ぎて使用しない。▶ サブウーファーに過大な負荷が加わり、故障の原因となります。
- サブウーファー本体、リモコンを固い布やシンナー、アルコール等揮発性のものを使ってふかない。▶ 傷が付いたり文字が消えることがあります。汚れたときは、シリコンクロスまたは軟らかい布でからぶきしてください。

安全運転のために

運転中は、車外の音が聞こえる音量に調節してお楽しみください。また、オーディオコンポーネントの操作は停車中に行うようにして、安全運転を心がけてください。

定格

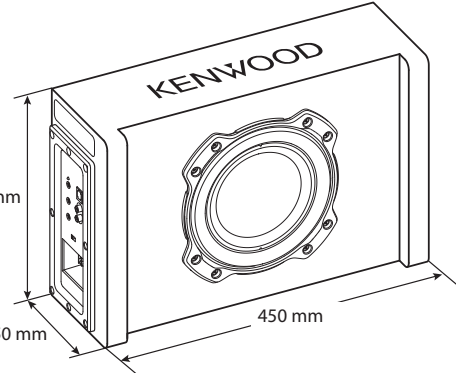
最大出力.....	400 W	動作電圧.....	12 V DC
周波数特性.....	32 Hz ～250 Hz	消費電流.....	17 A
カットオフ周波数.....	50 Hz ～200 Hz	出力音圧レベル.....	80 dB
位相切換.....	0°, 180°	外形寸法.....	
入力感度 (LINE IN).....		幅×高さ×奥行.....	450 mm×300 mm×150 mm
RCA入力.....	0.2 V ～5.0 V	本体質量.....	8.4 kg
スピーカー入力.....	4.0 V ～12.0 V		
入カインピーダンス.....	22 kΩ		
パスプースト.....	0 ～+12 dB (可変)		

※ これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

■ 付属品

①		電源コード (BATT) 6 m	1	⑥		タッピングねじ 5×25 mm	16
②		パワーコントロール コード (P.CONT) 6 m	1	⑦		リモコン	1
③		アースコード 1.5 m	1	⑧		リモコンコード 6 m	1
④		RCAコード 6 m	1	⑨		ワッシャー	1
⑤		ブラケット	4	⑩		ナット	1

■ 寸法図



故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない (パワーインジケータが点灯しない)	本体または電源コードのヒューズが切れている。	● コードの ●●● 接続確認とコード類がショートしていないことを確認後、指定容量のヒューズと交換してください。 ● 接続例を見て正しく接続してください。
	3ピンコネクターの差し込み不完全。	● 接続例を見て正しく接続してください。 ● 端子を奥まで確実に差し込んでください。
	3ピンコネクターのコードの固定が不完全。	● 接続例を見て正しく接続してください。 ● コードを奥まで確実に差し込んでください。
音が出ない	オーディオコンポーネントのアッテネーターがONになっている。	● アッテネーターをOFFにしてください。
	音量調整つまみが最小になっている。	● 音量を適度上げてください。
	接続端子の接続不良。	● 接続例を見て正しく接続してください。 ● 端子を奥まで確実に差し込んでください。
音が小さい、または音が大きい	大入力により、プロテクションが作動している。	● 音量調整つまみを最小にし、しばらく放置してください。
	入力感度調整つまみが正しく設定されていない。	● 「操作のしかた」を参照して正しく設定してください。
音質が悪い(歪む)	接続端子の接続不良。	● RCAコードが確実に接続されているか、確認してください。
	入力感度が高く設定されている。	● 入力感度調整つまみを回し、適正音量に設定してください。 ● 音量調整つまみを回し、適正音量に設定してください。
音が不自然	接続端子の接続不良。	● 接続例を見て正しく接続してください。 ● アース端子を車両の金属部 (塗装面は不可) に確実にねじ止めしてください。
	リモコンのコードが抜けている。または差し込みが不完全。	● コードをリモコン接続端子に確実に接続してください。 ● 端子を奥まで確実に差し込んでください。
リモコンの操作が効かない	リモコンのコードが抜けている。または差し込みが不完全。	● コードをリモコン接続端子に確実に接続してください。 ● 端子を奥まで確実に差し込んでください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について	
●保証書 この製品には、保証書を添付しております。 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。	●保証期間 お買い上げの日より 1 年 です。
修理に関するご相談は	
修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。	
修理を依頼されるときは	
「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	
●保証期間中は… 保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。 本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。	●車両からの取り外し / 取り付けについて 修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店または JVC ケンウッド・サービスにお持ちください。 なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。
●保証期間経過後は… お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご希望により有料にて修理いたします。	●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、 つぎの料金が必要です。) 技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。 部品代 : 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
●補修用性能部品の保有期間 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 6 年保有しています。 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。	お買い上げ店名
●持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。	年 月 日

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル) / 0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル) / 045-450-8950 (一部IP電話など)
FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30 ～ 18:00、土曜: 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
●修理などアフターサービスについては、当社ホームページ(<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>)またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内
お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報 のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。下記ウェブサイトを会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。 https://jp.my-kenwood.com

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。 その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。	絵表示の例 ⚠ 記号は、注意 (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。 ⓧ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 ❗ 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法上的の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。	

⚠ 警告：取り付け・接続作業上の注意

取り付け、接続作業は販売店または専門の業者に依頼する
取り付け、接続作業はこの「安全上のご注意」に従って行う

- ❗ 取り付け、接続作業には、専門技術と経験が必要です。取り付け、接続作業は、安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。

取り付け、接続作業は、この「安全上のご注意」の指定に従ってください。
誤った取り付けを行うと、急ブレーキをかけたときに製品が外れて人にぶつかるなど、重大な事故が発生する危険性があります。
誤った接続を行うと、感電、火災の原因となります。
この「安全上のご注意」に従わない取り付け、取り付け不備を含め、これらによって発生した事故に対して、当社は一切責任を負うことができませんのでご注意ください。

包装用ビニール袋はかたづける

- ❗ 製品の包装に使われているビニール袋は、子どもがかぶって遊んだりしないよう、手の届かない所にかたづけてください。
かぶって遊んだりすると、窒息の危険があります。

作業時は、車両バッテリーの接続を外す

- ❗ 取り付け、接続を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。
バッテリーに接続したまま接続作業を行うと、ショート*が起こり、火災の原因となります。

安全な場所に設置する

- ❗ 製品の取り付けは、ドライバーの視界を妨げない場所や、車の運転のじゃまにならない場所、急停車等の場合に同乗者に危険を与えない場所、エアバッグの作動に支障がない場所に取り付けてください。
安全な場所に取り付けない場合、けが、事故の原因となります。

工具は寸法が合ったものを使用する

- ❗ ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用し、確実に締め付け、固定してください。指示トルクがあるものは、指定されたトルクで締め付けてください。

合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付け不十分により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

取り付けには専用の付属品を使用する

- ❗ 製品の取り付けには、必ず付属の取付用品をご使用ください。
取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

タンクや電気配線を傷つけない

- ⓧ 車両に穴を開けて製品を取り付ける場合、ガソリントank、パイプ類、他の電気配線などの位置を確認のうえ、これらを絶対に傷つけないようにしてください。

これらのものが傷つくと、火災の原因となります。

⚠ 注意：取り付け・接続作業上の注意

接続コードを引っ張らない

- ⓧ 接続コードのコネクタを外すときは、コードを引っ張らずにコネクタをもって外してください。コネクタにロックがあるものは、ロックを解除して外してください。

コードの断線や接触不良により、感電や火災の原因となります。

直射日光はさける

- ❗ 直射日光が当たるところや、ヒーターの熱風が直接当たる場所への設置はさけてください。
製品に悪い影響を与え、火災の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

- ⓧ 雨が吹き込むところや、水がかかるおそれのある場所への設置はさけてください。
コードの断線や接触不良により、感電や火災の原因となります。

⚠ 警告：取り扱い上の注意

運転中にオーディオコンポーネントの操作をしない

- ⓧ オーディオコンポーネントの操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
運転しながら操作を行うと、気を取られて交通事故の原因となります。

大音量は禁止

- ⓧ 走行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量にはしないでください。
周りの出来事に気づかず、交通事故の原因となります。

異常な音を出し続けない

- ⓧ スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。
発熱し、火災の原因となります。
また聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

- ⓧ 改造やお客さまによる修理は、火災その他の事故の原因となります。
点検、修理は販売店、JVC ケンウッド・サービスにご依頼ください。

⚠ 注意：取り扱い上の注意

車両以外には使わない

- ⓧ 本製品は車両に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。
取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

発熱部には手を触れない

- ⚠ サブウーファー本体には、アンプの熱を逃がすための放熱器がついています。この部分は高温になります。使用中は、スイッチなどの操作部以外には手を触れないでください。
放熱器に触れると、やけどの原因となります。

＊ショート 電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード（電気配線）が、他のコードや車の金属部に接触したときなどに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

コードは正しく接続する

- ❗ スピーカーコードは、スピーカー出力コードまたは端子に直接接続してください。
車体に直接ねじ止めをしたり、スピーカーコードの〇側を共通にして接続すると、破壊、火災の原因となります。

指定以外のコードは使わない

- ⓧ 指定されたもの以外のコードは使用しないでください。
発熱し、火災の原因となります。
指定コードが不明の場合は、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

配線コードはテープを巻いて保護する

- ❗ 車両の金属部近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
金属の端部分は鋭く残っていて、コードを傷めます。
コードが傷つくと、感電やショート*による火災の原因となります。

電源コードの被覆を切った配線はしない

- ⓧ 電源コードの被覆を途中で切って、他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。
ショート*が起こり、火災の原因となります。

12V 以外の電源では使用しない

- ⓧ 本製品は 12V マイナスアース車専用です。これ以外の電源では使用しないでください。
12V マイナスアース以外の電源で使用すると、火災の原因となります。
電源は車両の取扱説明書で確認してください。

重要保安部品には接続しない

- ⓧ アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けて、アースをとらないでください。
重要保安部品のボルトやナットにアースコードを取り付けてアースをとると、車両の機能が損なわれ交通事故の原因となります。

ヒューズは規定のものを使用する

- ❗ ヒューズが切れたときは、接続したコードがショート*していないことを確認後、必ずヒューズボックスなどに表示された規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。
規定容量以外ヒューズを使うと、火災の原因となります。
車両のヒューズを交換するときは、車両の取扱説明書を参照してください。

取り付け、接続後車両の点検を行う

- ❗ 製品の取り付け、接続が終了したら、車両のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイバーなどが正常に動作することを必ず確認してください。
誤った接続などで車両の機能が損なわれていると、交通事故の原因となります。

取り付けかた

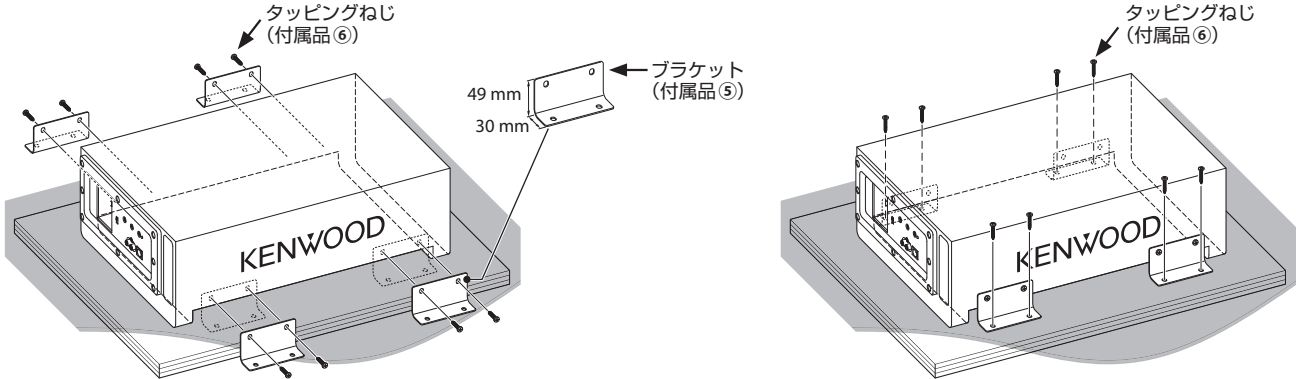
■ サブウーファー本体の固定のしかた

⚠ 警告

車両に穴を開けるときは、ガソリントank、パイプ類、他の電気配線などを絶対に傷つけないようにしてください。

⚠ 注意

● 運転および乗降、車内の移動のときに妨げにならない場所に設置してください。
● 走行中の振動や衝撃で、製品が動かないようにしっかりと固定してください。



1. ブラケット⑤を、本体にタッピングねじ⑥を使用して取り付けます。
2. タッピングねじ⑥を使用して、本体を車両に取り付けます。

接続のしかた

⚠ 注意

接続を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。すべての接続が終了後、もう一度正しく接続されているか確認してください。確認が終わったあと、バッテリーのマイナス端子のコードを接続してください。

- ① 実施

● 正常に音が出ない場合は、すぐに電源を切り、接続を確認してください。
● 各スイッチの設定を替えるときは、電源をオフにしてから行ってください。
● 接続しないコードや端子はショート事故を防ぐため、テープなどを巻いて絶縁処理を行ってください。
- 接続時の注意

● この取扱説明書だけでなく、オーディオコンポーネントなど接続される機器に付属している取扱説明書もあわせてご参照ください。
● バッテリーのマイナス端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両（外国車など）の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。
● 電源コードはバッテリーから直接接続してください。車両側のバッテリーコードに接続すると車両のヒューズが切れる原因になります。
● エンジンをかけて「ヒューン」という雑音が発生するときは、別売品のラインノイズフィルターを電源コード間に接続してください。
● グロメットを使用して、コードが板金のエッジに接触しないようにしてください。
● アースコードはバッテリーのマイナスと通電している車両の金属部分に接続してください。アースコードが確実に接続されていないときは、電源が入りません。

■ RCA入力

⚠ 注意

コード類は車両部品に挟み込んだり、コードに傷が付くような場所には配線しないでください。感電やショートによる火災の原因となります。

オーディオコンポーネント
(市販品)

ノンフェーダー出力

RCAコード
(付属品④)

リモコンコード(付属品⑥)

リモコン(付属品⑦)

パワーコントロールコード(青/白)
(付属品②)

オーディオコンポーネントにパワーコントロール端子がない場合は、青/白線をアクセサリライン（イグニッションキースイッチ ACC ポジションライン）に接続してください。

車両側ヒューズボックス

イグニッションキースイッチ

車両側メインヒューズ

ヒューズ (25A)

バッテリー

アースコード(黒)
(付属品③)

電源コード(黄)
(付属品①)

オーディオコンポーネントの出力が1つのRCA端子の場合は、図のような2つのRCA端子に変換するRCAコードを使用してください。上記の変換コードを使用しないと、サブウーファーの出力が半分になります。

オーディオコンポーネント

RCAコード
(別売)

1 3ピンコネクター

2 3ピンコネクターをカチッと音がするまでまっすぐに差し込んでください。

3 3ピンコネクターをカチッと音がするまでまっすぐに差し込んでください。

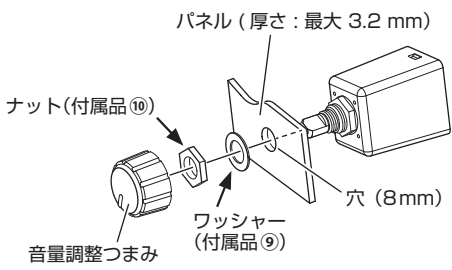
4 3ピンコネクターをカチッと音がするまでまっすぐに差し込んでください。

5 3ピンコネクターをカチッと音がするまでまっすぐに差し込んでください。

■ リモコンの取り付け(付属品 ⑦)

⚠ 注意

● 運転の妨げにならない場所、エアバッグの作動に支障がない場所に固定してください。
● 直射日光が当たる場所やヒーターの熱風が直接当たる場所は避けてください。



1. 車両のパネルを外します。
2. ドリルで8 mmの穴を開けます。
3. つまみ部分を外し、開けた穴に軸を通します。ワッシャー⑨とナット⑩で固定します。
4. つまみを軸に取り付けます。
5. 車両のパネルを元に戻します。

■ 電源コードのヒューズ交換のしかた

規定容量のヒューズを交換します。

抜き方

差し込み方

交換ヒューズ：25A

1. カバーを開けます。

2. ヒューズを指でつまんで、上に引っぺします。

1. ヒューズをヒューズホルダーに軽く入れて指で完全に押し込みます。

2. カバーを閉めます。

■ スピーカー入力の接続

⚠ 注意

コード類は車両部品に挟み込んだり、コードに傷が付くような場所には配線しないでください。感電やショートによる火災の原因となります。

オーディオコンポーネント
(純正品)

スピーカーコード(別売)→
(ピンプラグ-先バラ)

ショートに注意

リモコンコード(付属品⑥)

リモコン(付属品⑦)

オーディオコンポーネントの出力が1つのRCA端子の場合は、図のような2つのRCA端子に変換するRCAコードを使用してください。上記の変換コードを使用しないと、サブウーファーの出力が半分になります。

オーディオコンポーネント

RCAコード
(別売)

1 3ピンコネクター

2 3ピンコネクターをカチッと音がするまでまっすぐに差し込んでください。

3 3ピンコネクターをカチッと音がするまでまっすぐに差し込んでください。

4 3ピンコネクターをカチッと音がするまでまっすぐに差し込んでください。

5 3ピンコネクターをカチッと音がするまでまっすぐに差し込んでください。

操作のしかた

1 2 3 4 5 6 7 8 9

10 11 12

音量が下がる

音量が上がる

ヒューズ交換のしかた

ラジオペンチをスリットに差し込み、ヒューズをつかんで引き抜いてください。

- ① パワーインジケーター [POWER]

電源を入れたときにパワーインジケーターが点灯します。
- ② 入力感度調整つまみ [INPUT SENSITIVITY]

本機に接続するオーディオコンポーネントのプリアウトレベルに合わせて調整します。
● プリアウトレベルの調整を行う前に、オーディオコンポーネントに付属の取扱説明書の「定格」でプリアウトレベルの値を確認してください。
- ③ バスブースト調整つまみ [BASS BOOST LEVEL]

低音を強調します。
- ④ カットオフ周波数調整つまみ [LPF FREQUENCY]

カットする周波数を調整します。
- ⑤ 位相切り換えつまみ [PHASE]

位相を切り換えて、低音がよく聴こえる方に設定します。[0°] は正相、[180°] は逆相です。
- ⑥ アース端子 [GND]
- ⑦ パワーコントロール端子 [P.CON]

本機の電源のオン/オフをコントロールします。
- ⑧ 電源端子 [BATT.]
- ⑨ ヒューズ [FUSE] (25A)
- ⑩ リモコン端子 [REMOTE]

付属のリモコンを接続します。スピーカーの音量を調整できます。
- ⑪ ライン入力端子 [LINE IN]
- ⑫ 音量調整つまみ (リモコン)

スピーカーの音量を調整します。

プロテクション機能

本機には、様々なトラブルから本機やスピーカーを守るため、プロテクション機能が搭載されています。
プロテクションが働くと、パワーインジケーターが消灯します。
以下のときプロテクション機能が働きます。
・ 本機が故障し、スピーカー出力に直流電圧が発生したとき。
・ 内部温度が高温のとき。